

CASBEE-建築(新築)2016年版
江府町新庁舎建設工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
Q 建築物の環境品質									2.7
Q1 室内環境			0.40		-				3.1
1 音環境		3.0	0.15						3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40						
1.2 遮音		3.0	0.40						
1 開口部遮音性能		3.0	0.66						
2 界壁遮音性能		3.0	0.34						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-						
1.3 吸音		3.0	0.20						
2 温熱環境		2.6	0.35						2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50						
1 室温		3.0	0.38						
2 外皮性能		3.0	0.25						
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38						
2.2 湿度制御		1.0	0.20						
2.3 空調方式		3.0	0.30						
3 光・視環境		3.5	0.25						3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30						
1 昼光率	昼光率3.05%	5.0	0.60						
2 方位別開口			-						
3 昼光利用設備		3.0	0.40						
3.2 グレア対策		3.0	0.26						
1 昼光制御		3.0	1.00						
3.3 照度	照度686lx	4.0	0.16						
3.4 照明制御		3.0	0.29						
4 空気質環境		3.8	0.25						3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.50						
1 化学汚染物質	全面的にF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00						
4.2 換気		3.3	0.30						
1 換気量	建築基準法の1.4倍以上の換気量を確保	5.0	0.33						
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上	4.0	0.33						
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33						
4.3 運用管理		4.0	0.20						
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50						
2 喫煙の制御	建物内禁煙	5.0	0.50						
Q2 サービス性能		-	0.30						3.2
1 機能性		3.0	0.40						3.0
1.1 機能性・使いやすさ		2.4	0.40						
1 広さ・収納性		3.0	0.29						
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.29						
3 バリアフリー計画		3.0	0.43						
1.2 心理性・快適性		3.2	0.30						
1 広さ感・景観	執務スペースの天井高3.0m	5.0	0.29						
2 リフレッシュスペース	2階ホールがリフレッシュスペース+自動販売機有り	5.0	0.29						
3 内装計画		1.0	0.43						
1.3 維持管理		3.5	0.30						
1 維持管理に配慮した設計	評価する取り組みが6つ	4.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50						
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30						3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁仕上げに磁器質ポードータイルを採用(耐用年数40年)	5.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管にHIVP、排水管にVPを使用	5.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		3.0	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20						
3 電気設備		3.0	0.20						
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20						
5 通信・情報設備		3.0	0.20						

3 対応性・更新性			3.4	0.30		-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.5	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高が3.9m以上確保されている	5.0	0.52		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.123	4.0	0.48		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱性の高い建材を採用している	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.73	3.7	0.50		-	3.7
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	2.9
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		自動水栓・節水型便器を採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60		-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		GL工法、可動間仕切りの採用	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮		高効率な設備機器を採用し、CO2を削減	3.8	0.33		-	3.8
2 地域環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	評価する取組みが3つ	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	評価の取組み表の評価ポイントが3ポイント、広告物照明を行っていない	4.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	